

すこやかにこやか東郷っ子

自分らしく生きる力を身につけ、 なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより 令和7年10月3日 第8号 TEL 41-0003 FAX 41-0974 Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

東郷っ子につけたいたくましさ「4つの力」

- (1) 自分を知り、好きになる力
- (2)人を大切にして、関わっていく力
- (3)自分の考えをもち、語る力
- (4)失敗を恐れず、挑戦する力

今年度前半の学校評価 結果をお知らせいたします

今年度 7 月に実施した学校評価につきまして、お忙しい中、ご協力ありがとうございました。7月の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。 「R7」の欄の数値(%)は R7年7月分、今回の結果です。「R6」の欄は、昨年度の結果です。数値は「A よくあてはまる」「B:ややあてはまる」を合計し た割合を載せています。
 色の欄は、福井市共通評価項目です。 感想がありましたらこちらまでお願いいたします→



新しくなり、

◎スクールプランで設定した5項目において、目標数値を上回っています。学年や学級が

意欲をもって学習や活動に取り組む様子が見られることは大変喜ばしいこ

令和7年度東郷小学校 児童・保護者・教職員 第1回「学校評価」結果

	スクールプラン数値目標	児童	R7 7月	R6 12月	保護者	R7 7月	R6 12月	教職員	R7 7月	R6 12月
支え合う仲間みんなで認っ	自他を大切にして認め、共に取り組んでいる(児童90%以上)	みんなで何かをするのは楽しい。	99	99	学校は、子どもたち一人一人を大切にし温か く指導している。	90 ↓	91	な環境づくり、人間関係づくりに努めている。		
		自分のことが分かり、自分のことを大切に 思っている。	96 1	93	┫我が子は、自他を大切にして、関わっていこ ┃8	89	91		100	100
		友だちのことを大切にし、みんなで一緒に取り組んでいる。	98	98	うとする心が育ってきていると感じる。	1				
さつくりめ合い	自分の意見を最後まではっきり話す (児童90%以上)	自分の意見を最後まではっきり話すことが できる	94 1	91	我が子は、自分の考えや思いを相手にしっか りと伝えることができる。	18 ↑	74	自分は、児童が自分の考えや意見を最後まではっき り話せるよう、考えや意見のもたせ方を工夫したり、 最後まで話す指導をしたりしている。	93	100
Í		道徳の時間には考えを深めることができて いる。	95	95	赤字:スクールプランの目標 を上回った数値			本校は、道徳の授業時間を確保し、心を見つめさせ たり、生き方について考えさせたりする指導に努め ている。	93	100
	新設→	家族や友達、地域の人に挨拶をしたり、返事 をしたりしている	94	-	我が子は、家族や友達、地域の人に元気よく 挨拶をしている。	91	_	自ら児童や外部の人に挨拶をしたり、手立てを取っ たりして児童が自ら進んで挨拶できるように努めて いる	100	-
	自分たちの課題に気づいたり、取り組んだりしている(児童85%以上)	学校生活での自分たちの課題に気づいたり、そのことについて話したり、そこで決まったことに取り組んだりしている。	96 ↓	97	青字:スクールプランの目標を下 回った数値			自分は、児童が自分だちの課題に気づき、自分だち で考えて決め、実行していくよう、発達段階に応じ た支援をしている。	100	100
e	将来の夢やめざす目標をもっている(児 童95%以上)	将来の夢やめざす目標をもっている。	92 1	90	我が子は、将来の夢やめざす目標をもって いると感じる。	55 †	52	本校は、児童が夢や目標をもち、その実現に向けて 努力するよう、キャリア教育に力を入れている。	80	100
分の発表	ふるさと福井である東郷を大切にしたい (児童90%以上)	ふるさと福井である東郷を大切にしたいと いう気持ちをもっている。	98 ↓	99	我が子は、ふるさと福井である東郷を大切にしたい という気持ちをもっていると感じる。	63 †	61	本校は、児童が郷土福井への関心を高めたり、大切 に感じたりできる活動に十分に取り組んでいる。	100	94
信・宝	児童につけたい力を意識して、教育活動 に取り組んだ(教員100%)	失敗を恐れず、挑戦しようとしている	95 ↑	93				自分は、教育目標やつけたいカについて理解し、授業等で意識して取り組んでいる。	93	94
『行する児童自分なりの方法で		授業に自分から進んで(主体的に)取り組んでいる。	94	92		•]	本校は、発達段階や児童一人一人に応じた授業づくりに熱心に取り組んでいる。 自分は、子どもたちの効果的な学びのために、PC、タブレットなどのICT機器を使用している。 A:ほぼ毎日 B:週3回以上 C:週1回以上 D:月1回以上 E:月1回末満	100	100
		授業がよくわかる。	93	92	A 47(41) B 13(24) C 40(18) D 0(6) E 0(12)** () 内はR6.12月					
		先生は授業内容を一生懸命教えてくれる。	99	99	A 31(41) B 20(31) C 27(21)					
		授業で、PC、タブレットなどのICT機器を使っている。 A:ほぼ毎日 B:週3回以上 C:週1回以上 D:月1回以上 E:月1回未満	\leq		D 18(5) E 4(2) ※ () 内はR6.12月の結果					
	学校教育目標や児童につけたい力につい て知っている(保護者90%以上)				学校教育目標や児童につけたい力につい て、学校だより等の説明により知っている。	97 †	91			
	学校が楽しい(児童90%以上)	学校が楽しい。	96 1	95	我が子は、学校生活を楽しんでおり、友人関 係も良好である。	95	95	自分は、児童の様子を日ごろからよく見たり、継続的な言葉がけなどの関わりをもったりして、児童が楽しいと思える学校(学級)づくりに努めている。	100	100
丁寧か	員100%)	先生は、困ったときには相談に乗ってくれたり、よく ないことをしたときはしっかりと注意してくれたりし ている。	99 †	97	子どものことで、気軽に学校に相談できる。	90 1	88	本校は、保護者や関係機関と連携を取ったり、校内で情報を共有したりして、気になる児	100	100
で妄奏		いじめを見たら、大人に知らせたり、止めたり することができる。	88	88	4			童に十分な支援を行っている。		
える学派と丁寧	学校の考えが適切に伝えられている(保 講者90%以上)					本校は、スクールブランに基づき、目指す子 どもの姿の実現に向けて協働して取り組ん	100	100		
校な					教職員定時退庁日をはじめとする働き方改 革の取組を理解できる。	1 93	95			100
		交通安全や生活面の安全に気をつけて生活している。	98 1	99	学校は、災害対応訓練や不審者への対応、交通安全 など、安全面について適切に指導している。	95	95	本校は、登下校時の安全や災害時・不審書の対応等、命 を大切にすることについて適切に指導を行っている。	100	100

とです。 己有用感、 い」と感じている児童も少なからずいることも事実です。 に向き合い、 自分への自信、 今後も、 学校づくりを目指します。 東郷っ子が、仲間とともに意欲をもって様々な活動に取り組み、 相手への信頼を高め、 笑顔で「学校が楽しい!」といえるよう 一人一人の気持ちを大切に丁寧

しかし、 その一方で、 「C: あまりあてはまらない」「D: まったくあてはまらな

自

★★結果をふまえて★★

①「自分の意見を最後まではっきり話す」評価について

◎▲9割以上の児童が「自分の意見を最後まではっきり話せている」と評価 している一方、保護者の皆様の評価は昨年度より上がったものの児童との差 が大きくなっております。今後、児童の「相手に伝わりやすいように話す」 「相手の意見も聞きながら話す」など、質的な向上を目指すとともに、今後 はご家庭に児童の姿が伝わる工夫をして参ります。併せて児童の表現を育む 授業の工夫も継続して参ります。保護者の皆様には、お子様の意見や話をじ っくり聞く時間を取っていただけますと幸いです。

③ 「将来の夢やめざす目標」について

今年度、スクールプランの目標を95%に上げていますが、児童の「A,B」 の回答率は92%でした。昨年度より数値は上がってはいますが目標には届 いていません。また、保護者評価では、昨年度より上がったものの55%と なっており、差が大きく開いています。本校では、冊子「夢へのパスポート」 や福井市発行「小学生のためのお仕事ノート」等を活用したり、ゲストティ ーチャーに仕事を選んだ理由などを聞いたりして、仕事を知り、段階的に自 分自身を見つめたり将来の生き方を考えたり、またスモールステップでの目 標設定や将来の自分を考えたりしています。今後は、お子様の夢や目標など

について、ご家庭での話題となっ たり、お子様と共に考えていた だいたりして、ご理解いただけ るよう取り組み方を工夫して参 ります。



②「挨拶」評価(新設項目)について

◎挨拶については、児童・保護者・教職員共に9割を超える評価を 得ることができました。しかし夏休み以降、若干挨拶に元気のない 様子がうかがえます。今後は、明るくはきはきとした挨拶や返事が できる子を目指して取り組んで参ります。

④「いじめを見たら大人に知らせたり止めたりできる」について

児童評価の88%という数値は、残りの12%が「知らせたり止めた りできない子がいる」 ことを意味しています。そこを改善するため に、「未然防止」「早期発見・共有」の徹底をはかり、児童へは、「知 らせることは勇気である」教育の継続、「じゃれ合いやふさけの中に もいじめが存在する」「ふざけなどがエスカレートしたときどう声 をかけるか」「見て心配なときにどう先生に伝えるか」など、ロール プレイや具体場面での学習、安心して伝えられる仕組みなど、子ど もが「声を上げやすい」方法を整えていきたいと考えています。今 年度、本校の「いじめ防止基本方針」も一部改訂いたしました。東 郷っ子が安心して学校生活を送っていけるよう、取り組んで参りま す。

本校の「いじめ防止基本方針」をご覧ください。

https://www.fukui-city.ed.jp/togo-e/ijime/070922ijime.pd



いただきました評価を肝に銘じ、今後もお子様に「つけたい力」をつけるための教育活動をすすめ、お子様の成長を見ていただくことでご理解をいただけ るよう努めて参ります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。